

令和7（2025）年度 2月入学試験問題

商学・経済学研究科商学・経済学専攻
博士後期課程

筆記試験（英語）

受験上の注意

1. 試験開始の合図があるまで試験問題を開いてはいけません。
2. 受験者は、すべて試験監督員の指示に従ってください。
3. 試験時間内の退場はできません。
4. 解答用紙のみ提出してください。
5. 試験時間は90分です。

熊本学園大学大学院

令和7（2025）年度 熊本学園大学大学院博士後期課程2月入学試験問題
〔商学・経済学研究科（商学分野）〕

英 語

〔問〕 次の英文をすべて日本語に訳しなさい。

著作権の関係上、掲載できません。

（出典） International Accounting Standards Board(2004) *International Financial Reporting Standards: Including International Accounting Standards (IASs) and Interpretations as of 31 March 2004*. International Accounting Standards Committee Foundation, pp. xiii.

令和7（2025）年度 2月入学試験問題

商学・経済学研究科商学・経済学専攻
博士後期課程

筆記試験（英語）

受験上の注意

1. 試験開始の合図があるまで試験問題を開いてはいけません。
2. 受験者は、すべて試験監督員の指示に従ってください。
3. 試験時間内の退場はできません。
4. 解答用紙のみ提出してください。
5. 試験時間は90分です。

熊本学園大学大学院

令和7（2025）年度 熊本学園大学大学院博士後期課程2月入学試験問題
〔商学・経済学研究科（経済学分野）〕

英 語

〔問〕 次の英文を読み、以下の問に答えよ。

著作権の関係上、掲載できません。

著作権の関係上、掲載できません。

FIGURE I
Output per Capita in Western Europe in the Years 0–2000
Data source: Maddison [2001].

出典：O.Galor and O.Moav, “Natural Selection and the Origin of Economic Growth”
Quarterly Journal of Economics, (2002) の Introduction より。

注：lineage 家系

問1：下線部①を和訳せよ。

問2：下線部②に関して、なぜ実質賃金が上昇したにもかかわらず人口増加が加速したのかを、Malthusian pattern に基づいて日本語で説明せよ。

問3：下線部③に関して、なぜ産業革命前の急速な技術進歩のうねりは持続的な経済成長につながらなかったのか、日本語で説明せよ。

問4：本文の記述を踏まえ、Figure I のグラフを図示せよ。

問5：下線部④に関して、1人当たり所得と出生率の関係を図示せよ。グラフの作成においては、横軸を「1人当たり所得」、縦軸を「出生率」とすること。

受験番号						

※氏名は記入しないこと。

解答用紙

問 1 :

問 2 :

問 3 :

※解答欄が不足する場合は裏面に記入すること。裏面に解答する際は、どの解答か分かるよう明記すること。

受験番号						

※氏名は記入しないこと。

問 4 :

著作権の関係上、掲載できません。

問 5 :

評点	/ 100
----	-------